

事業所名

中津川市発達支援センターどんぐり

支援プログラム

作成日

R7

年

4

月

1 日

| | | | |
|-----------|---|--|---|
| 法人（事業所）理念 | ひとりひとりの個性や強みを大切に、将来のこどもの成長、発達の姿を見通しながらこどもの自尊心や主体性を育てます。 | | |
| 支援方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊具や道具を使いながら、大人や友だちと一緒に遊びを通して発達を支援します。 ・家庭、担当職員、専門職員、園、学校、福祉、医療と連携し、チームで考え、よりよい育ちのために途切れない支援を行います。 ・こどもが大切にされ、安心して楽しく遊ぶ中で発達が保障される場所になるように努めます。 ・保護者の思いに寄り添い、ひとりひとりにあった支援方法を一緒に取り組みます。 | | |
| 営業時間 | 9 時 | 分から | 17 時 分まで |
| | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康な心と体を育て、安全な生活ができるように支援をします。 ・食事、排泄、睡眠、着脱、身の回りを清潔にするなどの基本的な生活習慣や生活リズムを身に付けられるように支援をします。 ・家庭や園での様子も聞きながら方法や手段を一緒に考えます。 | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの特性や発達段階に応じた運動遊びを通して、運動機能の向上を図ります。 ・補助用具や補助手段を活用して、自分でできることを増やします。 ・こどもの好きな感覚、苦手な感覚に合わせて、環境調整を行います。 | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して名詞、形、色、数、大小、時間、文字などを知らせていきます。 ・「おもしろそう」「やってみよう」「もう一回」と思える様々な遊びを経験しながら興味関心を広げ、チャレンジする意欲を育てていきます。 ・行動や気持ち、状況に応じた行動調整ができるよう支援をします。 ・「それでいいよ」「大丈夫」と認め、頑張る姿や行動を褒め、自己肯定感に繋がります。 | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけでなく、表情や身振り、手話、カード、機器などを使用することで自分の思いを表出し、相手に伝えられるよう支援をします。 ・相手や場に応じてコミュニケーションがとれるよう支援をします。 ・相手の伝えたいことがわかるように視覚支援や環境設定をします。 ・遊びの中で言葉の理解に繋がります。 | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく通うことができ、安心できる大人との信頼関係を育みます。 ・不安な時や感情が崩れた時に、大人が気持ちを受け止め、一緒に取り組むことで安心感を得たり、気持ちに折り合いがつけられるように支援をします。 ・真似をして遊ぶことで人を意識したり、ごっこ遊びや見立て遊びから社会性の発達を支援します。 ・大人や友だちと遊ぶことでルールを理解し、楽しい経験に繋がります。 | |
| 家族支援 | 同じ悩みを持つ保護者同士やOBとの繋がりの中で、安心して話ができる場を設けます。 (親子指導 茶話会 バレントレーニング 保護者学習会 等) | 移行支援 | 個別指導から、小集団、集団への適応を見通して取り組みます。 (園訪問 保育所等訪問支援 就学検討委員会など) |
| 地域支援・地域連携 | 地域の園、学校、関係機関と連携を取り、事業所の理解、促進に努めます。 (園からの療育見学 地域教育支援委員会 実習生やボランティアの受け入れ ホームページ等による情報公開等) | 職員の質の向上 | 職員同士が主体的に学び合う姿勢をもち、支援内容の質の向上に努めます。 (発達支援関係職員研修 事業所内研修 身体拘束・虐待防止研修 外部研修会への参加など) |
| 主な行事等 | どんぐりまつり 避難訓練 水遊び クリスマス会 季節に合わせた制作活動 | | |